

150年間の思いを一つに 元街っ子
~つなげよう! まちへ 世界へ 未来へ~

令和5年8月31日



横浜市立元街小学校



令和5年度 学校だより 9月号

Tel 681-7810 Fax 662-5842

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motomachi/>

この地を愛し、この地を創る元街っ子に

校長 工藤雅彦

38日間の夏休みが終わり、再び学校に元気な子どもたちの声が響いています。今年の夏は35度を超える猛暑日が今なお続いています。子どもたちは、朝から大汗をかきながら頑張って登校しています。お家を出発するときや登校途中でもしっかり水分補給をしたり、登下校中はできるだけマスクを外したりするとよいです。

そんな中この夏も、元街小では、大きな事件や事故はありませんでした。8月28日の朝会で全校の子どもたちと元気よく挨拶をかわせたことが何よりの喜びでした。保護者の皆様、キッズや学童のスタッフの皆様、地域の皆様ありがとうございました。

さて、夏休み中、各町内会・自治会では、早朝よりラジオ体操が行われ、夏祭りや盆踊りも再開されてきました。いくつかの町内会や自治会にお邪魔すると、多くの子どもたちや保護者の方々が楽しそうに参加していました。ラジオ体操では高学年の子どもたちが前に出て模範演技をしたり、中学生が運営のお手伝いをしたりしていました。また、ラジオ体操後に盆踊りの練習をしているところやラジオ体操のご褒美が夏祭りのチケットになるところもありました。よいアイデアだと思いました。夏祭りでは浴衣を着たり、飲食やゲームを楽しんだり、やぐらで太鼓をたたいたり、盆踊りを大人の踊りを自ら進んで真似て踊りの輪に入って楽しんだり、山車を引いて日本の文化を体験したりしていました。子どもたちは思い思いに楽しみながら、地域の方々や保護者や友達とふれあっていました。



元街小の学区は地域の材に恵まれ子どもたちの学習に生かすことができます。さらに地域でも、ふるさとや季節を感じさせる多くの地域行事やイベントが行われています。どれもまちの人たちの温かさや結束力、まちそのものの勢いと力を感じました。多くの元街小の子どもたちもその中で、学校では学べない様々な体験をし、たくさんの人やものやことに出会い、生き生きと楽しく過ごすことができます。子どもたちには今後も積極的にまちの行事やイベントに参加してほしいと思います。また、学校が地域と共に歩んでいく必要性や地域に生かされていることを改めて感じました。学校教育目標にも「この地を愛し、この地を創る元街っ子」が掲げられています。この子どもたちが自分たちの育った地域を愛し、感謝の思いで地域のために貢献したり、まちを盛り上げていってくだりすることも学校が元気になることにつながるのだと感じます。

地域の方々におかれましては、学校外での子どもたちの健全育成や見守りに感謝いたします。さらに日々の教育活動へのご協力やご支援をこれからもよろしくお願い申し上げます。